

日教組香川 2017.12



発行所 日教組香川教職員組合
〒760-0008 高松市中野町15-24
佐藤ビル1F

TEL 087-802-1640
FAX 087-802-1642
URL <http://www.jtu-k.com/>
E-mail jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp

発行人 嶋村太伸
毎月1日発行

**働き方改革研究会を立ち上げた
来年3月までには報告したい**



**もうやることは、決まっています。
ICTカードやタイムカードの導入。
留番電話の設置。開閉庁の時間の設定。
校務支援員の配置。そして、業務削減です。**

**香教組でもない、香教連でもない、高教組でもない
全国で一番なかまの多い 日教組香川へ**

11.15 県教委交渉

働き方改革に待ったなし

県教委は具体的な施策のスピード化を！

11月15日(水)、日教組香川は、香川県教育委員会と交渉を行いました。日教組香川からは、嶋村中央執行委員長をはじめ計4名、また、県教委からは工代祐司教育長をはじめ、総務課、義務教育課、特別支援教育課、保健体育課、人権・同和教育課、健康福利課各課長等計19名が出席しました。

以下は、県教委との交渉経過の概略です。

教職員の賃金水準の引き上げを

日教組香川「教職員の賃金水準の引き上げを行うとともに、今度賃金カットを行わないように努力すること。また、賃金の決定にあたっては、関係教職員団体と十分な協議を行うこと。さらに、公務・学校現場になじまない能力・実績主義に基づく賃金・処遇への反映は拙速に行わないこと」

県教委「人事委員会の勧告を尊重するというを基本として対応すべきと考えている。給与に関する協議についても適切に対応したいと考えている。なお、同勧告を踏まえ、昇給及び勤勉手当に勤務実績を反映させているところである」

日教組香川「知事部局の交渉では、人事・行革課長から、国の改正内容が明らかになった段階で、条例改正案を提案する予定である、と回答があったらしいが、教育委員会もその認識でいいのか」

県教委「知事部局と足並みを揃えたい」

日教組香川「知事部局の交渉では、総務部長から、あってはならない賃金カットに二度といたることにならないよう最大限の努力をしてまいりたい、と回答があったらしいが、教育委員会もその認識でいいのか」

県教委「知事部局と足並みを揃えたい」



松村総務課長

退職手当の引下げ反対

日教組香川「知事部局の交渉では、総務部長から、退職手当の引下げについて、退職後の生活に大きな影響を与える課題だと考えており、皆さんのご意見を聞く場を設けさせていただきたいと回答があるが」

県教委「知事部局と足並みを揃えたい」

学校事務職員の賃金改善を

日教組香川「知事部局の交渉では、4級昇格年齢について一歳引き下げを実施するようだが、学校事務職

員にも何らかの有利になるのか。なお、学校事務職員については、抜本的改善を考えてほしい」

県教委「4級昇格年齢について一歳引き下げについては、知事部局に状況を聞き、検討する」

学校事務職員の時間外勤務は36協定を

日教組香川「学校事務職員の時間外勤務に関しては、36協定を結ばなくてはならないと、文科省と日教組の交渉では確認されたが」

県教委「36協定対象か確認する」

文科省通知を踏まえ、早急に学校の業務改善を

日教組香川「教育委員会における学校の業務改善のための取組状況調査の結果(速報値)及び学校現場における業務改善に係る取組の徹底について(通知)」(平成29年6月22日付け29文科初第509号)および「中央教育審議会初等中等教育分科会学校における働き方改革特別部会 学校における働き改革に関わる緊急提言」(平成29年8月31日)等を踏まえ、県立高等学校、県立特別支援学校において以下の点について適切な対応を行うこと。また、市町教育委員会に対しても周知、指導すること。

- (1) 業務改善方針の策定と市町教委員会への支援とフォローアップ
- (2) 勤務時間の適正な把握
 - ① 労働時間の定義
 - ② 賃金台帳の調製
 - ③ 労働者の労働日ごとの始業・終業時刻の確認と記録
 - ④ 使用者のタイムカード、ICカード等による客観的記録
 - ⑤ 労働時間の記録に関する書類の3年間保存
 - ⑥ 労働時間管理上の問題点の把握とその解消
- (3) 労働安全衛生の整備
- (4) 部活動の適切な運営

さらに、教員の業務負担改善の観点から校務支援員の配置に向け市町教育委員会への働きかけを行う

こと。

また、学校事務における「共同実施」の確立と学校事務職員への権限委譲を進め、学校事務職員の拡充や職務の明確化、効率化を行うこと」

県教委「教育委員会事務局内において、働き方改革に関する検討組織を設けて調査研究を進めており、今後、国の動きを注視するとともに、市町教育委員会などの関係機関とも協議しながら、実効性のある方策を取りまとめたいと考えている。

教職員の労働安全衛生の対策や業務の適正化等にもついで、市町教育委員会に周知・指導を行っているところである。

運動部活動の運営については、学校ごとに既に設定されている休養日を遵守する等、適切な運営が図られるよう呼びかけている」

日教組香川「県人事委員会勧告と報告に関してのコメントは？」

県教委「労働時間の管理は、労働法制上管理者の責務である。市町教育委員会には、管理の在り方を早急に考えてほしいと求めている。市町教育委員会も同様な認識をもっているようだ。働き方改革を積極的に働きかけたい」

日教組香川「『働き方改革に関する研究会』の動向は」

県教委「6月に『働き方改革に関する研究会』を立ち上げて今まで1回開催した。教育長をトップに、関係課長で構成している。プロジェクトは2回開催した。なお、内容はオープンにできない」

日教組香川「今までのアクションプランのと関連は」

県教委「アクションプランを引き継ぐことも含めて考える。今回は総務課が主で動いている。今年度中に何らかのものを出したい」

日教組香川「具体的な策は決まっている。ICTカードやタイムカードの導入。留守番電話の導入。開閉庁時間の設定。校務支援員の導入。そして、業務削減。行くと効果が出ると出ている」

県教委「今は内部で論議している段階である」

日教組香川「スピード感をもってほしい。学校が魅力ある職場でなくなっている。志望率低下や講師希望者の減少。香川が働きやすい職場であることをアピールすべきではないか」



久保義務教育課長

県教委「不妊治療の内容によっては、病気休暇の承認ができるものもあるため、申請前に管理職に相談できるよう周知している」

日教組香川「県教委も、不妊治療を行っている教職員の数は把握できないと思う、なかなか、管理職にも言えないのが現状だ。不妊治療は、長期に渡り、しかも県外への場合もある。子どもを産みたい人が働きやすい職場をつくるのが大切だ。茨城県では1年の特別休暇制度ができた。1年間、安心して休める制度の新設を求めたい」

県教委「知事部局と同じように入れるべきと考える。子どもが産み育てやすい香川にできればいいのだが」

日教組香川「来年度に向けぜひご努力願いたい」

学級現場の状況に応じた人員配置を

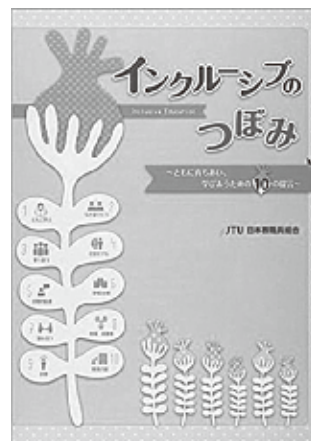
日教組香川「香川型教育」における課題を整理し、学校現場の状況に応じた人員配置とともに、早期に30人以下学級の実現を図ること」

県教委「少人数学級編成においては、小学校4年生までと中学校1年生で35人以下学級を実現している。小学校5・6年生と中学校2・3年生においは、少人数指導加配教員を活用した35人以下学級を実現することも可能としている」

特別支援教育からインクルーシブ教育をめざして

日教組香川「すべての子どもや保護者のニーズにあった『インクルーシブ教育』の推進とその推進役としてのコーディネーターの養成に努めるだけでなく、学校現場での教職員への理解を深めること」

県教委「すべての小・中学校、高校では、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会が設置されるなど、支援体制の整備は進んでおり、インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育の充実を図るため、特別支援教育コーディネーターを中心に研修を進め、全教職員への理解啓発に取り組んでいるところである」



インクルーシブのつぼみを参加者に配布



廣瀬特別支援教育課長

長期の不妊治療が可能となる休暇制度を

日教組香川「長期間の不妊治療が可能となる休暇制度を新設すること」

日教組香川「日教組の発行した『インクルーシブのつぼみ』にあるように、私たちは、特別支援教育からインクルーシブ教育をめざしてほしい。それには、義務制での取り組み、時に通級制度の充実が大切である。通級学級の増設をお願いしたい」

義務教育諸学校と特別支援諸学校の人事交流を積極的に
日教組香川「義務教育諸学校と特別支援諸学校の人事交流を積極的にすすめてほしい。人的交流が互いの教育活動の活性化に繋がる」

全国学力・学習状況調査の結果の公表をしないように
日教組香川「学校や地域の序列化につながるおそれがある全国学力・学習状況調査の結果の公表をしないように、引き続き市町教育委員会や学校に働きかけること」

県教委「全国学力・学習状況調査の実施要領の基づき適切に実施している」

さらなる人権・同和教育の充実を
日教組香川「人権・同和教育の充実をさらに進めること」

県教委「人権・同和教育に充実は必要であると考えており、今後も新たな人権課題を加えながら各種研修会等に取り組んでいきたい」

「みんなですすめる人権・同和教育」を全教職員配付に
日教組香川「『みんなですすめる人権・同和教育』（改訂版）を全教職員に配付すること。初任者研修や校内研修での活用を図るよう指導すること」

県教委「『みんなですすめる人権・同和教育』の再改訂版については、平成29年3月に発行し、以後、各種研修会において、教職員や社会教育指導者を対象に、その各現場での活用を進めたり、掲載内容についての解説を行ってきたりしている。今後も研修会等を実施し、理解を深める取り組みを進めていくた



山本人権・同和教育課長



日教組香川の要求で再改訂版が発行

い」
日教組香川「一人一冊の配付への努力をお願いしたい」

LGBTの子どもたちや教職員が過ごしやすい学校に
日教組香川「LGBTの子どもたちや教職員が過ごしやすい学校にするための視点を追記すること」

県教委「『LGBT等に関する教職員研修会』において、性的少数者への理解を深め、LGBTの子どもたちや教職員が過ごしやすい学校づくりをめざしたい」

日教組香川「LGBTの課題について、さらなる取り組みを進めて欲しい」

教育長から

「働き方改革については、スピード感をもってやっていきたい」

「やるべきことは見えている。年度内に出し、ご意見を聞きたい。学校現場、教員の仕事は、普通の事務職とは違う。部活動をしたが教員もいる、一方、逆の思いをもっている教員もいる。そこで、何を一律に切ればいい



工代教育長

か十分の考えて行くことが必要だと思う。これからもいろいろサジェスションをいただきたい」

交渉を終えて

「やるべきことが決まっている。あとは、どう具体化するか」

今回、日教組香川は、学校現場の超勤・多忙化解消の具体策として、

- ・ICTカードやタイムカードの導入
- ・留守番電話の導入
- ・開閉庁時間の設定
- ・校務支援員の導入
- ・業務削減

を強く要求しました。既に、これらを各教育現場で実践することで、超勤・多忙化解消の報告が出てきています。

すでに、やるべきことが決まっています。あとは、どう具体化するかです。

中央段階で、日教組は、以下の3点を文科省に求めています。

- 第1の柱 「給特法の見直し」
- 第2の柱 「業務削減」
- 第3の柱 「教職員定数の改善」

今後、中教審の「学校における働き方改革特別部会」での審議が進みますが、現場教職員の声を、日教組に結集していきしょう。

全国から香川から ～11月～

多忙な現場を報告

11月8日(水)、午後1時より、連オクラホテル高松において、連合香川第25回定期大会が開催されました。そして連合香川の運動と今後の方針を確認しました。

討論では、働き方改革に関して、日教組香川の嶋村委員長が、学校現場の多忙な現状を報告しました。また、「教職員の働き方改革推進プロジェクト」の署名の取り組みの願いをしました。



連合香川定期大会

新年度の役員は、進藤龍男会長に代わり森信夫会長、鈴木義博事務局長に代わり榎原一吉事務局長が新しく選出されました。また、日教組香川からは、引き続き作江書記長が会計監査に選出されました。

ブラック部活の現状

11月は教育改革全国キャンペーン月間です。

11月11日(土)には、千代田区一ツ橋の毎日ホールで、教育改革全国キャンペーンの一環として、毎日メディアカフェが主催し日教組などが協力した、「学校リスクを考える～『ブラック部活』の現状～」が開催されました。

学校の運動部を巡っては、活動中の重大事故、生徒への暴力、顧問教職員の過重負担などの問題が注目されています。この問題に詳しい名古屋大准教授の内田良さんは基調講演で「自主的活動なのに強制的で、自主的活動であるがゆえに過熱している。活動の総量規制、ゆとりある部活動への転換が必要だ」と訴えました。

続いて開かれたパネルディスカッションには、内田さんと、毎日新聞「開かれた新聞委員会」委員の荻上チキさん、現職教員の石上温子さん、7人の子の母親で学校のPTA会長をしている波瀬川久子さんの4人が参加。荻上さんから「最初に理不尽な指導をやめる、次に『ノー部活デー』を決めるといった工程表を決めて改革すべきだ」と指摘がありました。日教組香川からも2人参加しました。

働き方改革を求めて

11月13日(月)、教職員定数改善・教職員の働き方改革を求める日教組中央行動が行われました。

日教組は、参議院議員会館1階講堂において、午後1時半より「教職員定数改善・教職員の働き方改革を求める」意志統一集会を開き、その後、日政連議員6人からの激励の挨拶を受け、各県教組からの代表者が国会議員要請行動を行いました。

その後、「子どもたちのゆたかな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会(子ども支援連絡会)」主催による「教職員定数改善を求める全国集会」が開催され、教職員定数改善のアピールを行いました。

人権教育実践交流

11月18日(土)19日(日)、埼玉県で、第27回人権教育実践交流集会在開催され、各地からの報告や実践をもとに全体会や分科会を通して人権教育について議論が深められました。



石川一雄さんからの報告

全体会では、現地報告として、部落解放教育のとりくみや狭山事件冤罪被害者の石川一雄さんご本人より、「狭山事件の再審無罪を訴え続けて」の講演を受けました。

全体後の分科会では、第1分科会で、嶋村日教組香川委員長が司会を務めました。

2日目は、フィールドワークがあり、狭山事件の現地調査、原爆の図・丸木美術館や江戸時代の差別事件にかかわる岩戸観音などをめぐる2つのコースに分かれて現地学びました。



分科会の司会をする嶋村日教組香川委員長

差別解消にむけて

11月22日(水)、10時より、高松市レクザムホールにおいて、部落解放第35回香川県講演会が開催されました。

今回は、部落解放・人権研究所の谷川雅彦所長さんから「『部落差別解消推進法』施行と今後の課題」、東京新聞社会部記者の望月衣塑子さんから「なぜ、菅官房長官の会見に臨むのか～安倍政権とメディア」の2つの講演がありました。どちらも講師の方の熱い思いが伝わってくる内容でした。



望月衣塑子さんからの講演

教育実践講座 I

子どもは算数のどこで躓くのか？^{つまり}⑱ 「-マイナス=プラス？」

石原清貴(元小学校教員)

1 中学生からの質問

中学校に送り出した子どもたちが、4月5月頃にはよく訪ねてきます。そういった子どもたちが口々に言うのが「数学が分からない」です。聞くと「正負の数の計算規則」の<-マイナス=プラス>これがなぜだか分からないといひます。

正負の数での躓きは、後々まで影響を及ぼします。出来るだけ早い時期にクリアーしてほしいのですが、小学校の算数とはずいぶん内容が異なるのでうまくアドバイスできません。そこで、今回は算数の躓きから少し離れて数学の躓きについて分析を進めたいと思います。

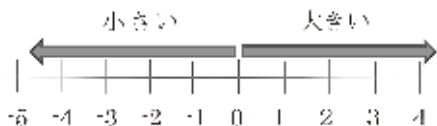
2 負の数をどう学習するのか

中学校ではどのように教えるのでしょうか？

教科書を見ると、身の回り「負の数を使った表記」があることに触れそれらの数が基準値より下の場合に使われる数であることを教えます。たとえば温度計や、海の深さを水面より-〇mと表すことなどを示しています。このあたりは子どもたちにとって違和感なく納得できるところだと思います。

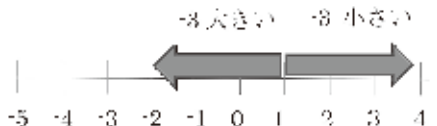
その後、数直線上に正負の数値を記して、次のように数の大小を定義します。

- 正の数は負の数より大きい。
- 正の数は0より大きく絶対値が大きいほど大きい。
- 負の数は0より小さく絶対値が大きいほど小さい。



ここまでは言葉は難しいものの目盛り読みの範囲で決して難しくありません。

ところがこの数直線を使って次のような負の数の説明がなされたとき「え、何のこと？ どういうこと？」と困ってしまうようです。



1より-3小さい数はいくつ？

1より-3大きい数はいくつ？

「何じゃこれ！」子ども唾然。

•負の数は0より小さい数だから-1より-3大きい数が-4とか、-4から-3小さい数が-1なのはどうか理解できる。でも何で正の数1から-3大きいとか小さいなんて事が言えるの？ 分けわかんない！

つまり、子どもたちにすれば負の数を小さくできるのは0まで、0を超えて正の数も負の数が小さくなった数だと考えられないのです。ところがそんな子どもの気持ちには無関係に、

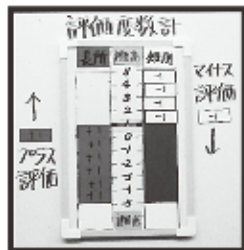
•数直線上で〇から△大きい数は右に△進んだ点へ、〇から△小さい数は〇から△だけ左に進んだ点で表される数である。ある数より負の数だけ大きい数、小さい数は負の数を使わずに表すと正の数だけ小さい数、大きい数の場合と同じようにして求められます。



石原清貴氏

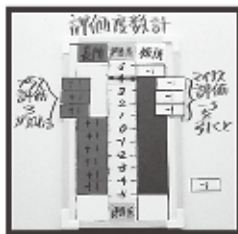
意味が分からなくなった上にこんな説明が入ってきますから、ちんぷんかんぷんとなるのはうなずけます。多分、多くの子がここで躓いたままになります。それでも、何とかやり方をマスターしていきませんが、躓きはしこりのように残ります。それは次のような子どもの言葉となります。「マイナス-マイナス=プラス、これは覚えたらいいいこと。<何で？>と考えないことにした。」

3 どんな教え方がいいか



いくつかの指導方法があります。私は次のような指導方法が有効だと考えています。

これは私が評価の度数計と呼んでいる教具です。真ん中の目盛りはその人(物)の評価目盛りです。左側の赤い「プラス・カード」は長所を表し、このカードの枚数が増えれば増えるほど評価は上がります。反対に右側の白い「マイナス・カード」は短所を表し増えれば増えるほど評価は下がります。そのため、「プラス・カード」は下から上に増え、「マイナス・カード」は上から下に増える仕組みになっています。(この理解がとても大事)



そして、ある人Aさんの評価が現在、短所と長所をつきあわせると「1」の評価であるとしてします。しかし、Aさんが努力してマイナスと評価されている行動(忘れ物が多い・言葉遣いが良くない・字が雑)の-3ポイントを改善して取り除いたとします。

すると、たちまち評価は+3ポイントとなって現れ、Aさんの評価は「1」から「4」に上昇します。これを式で表すと $1 - (-3) = 1 + 3$ となります。どうでしょう。-マイナスがプラスに変身していませんか？

この短所がなくなれば長所が増えるという説明は子どもたちにとっても分かり易いようで、たいいていの子どもはマイナス-マイナスがプラスになる事を納得してくれます。やはり身近な事象を扱わないといけないですね。

Tea, Coffee and Cakes

JTU-Kafe Open

pm 6:30-8:30 Thu, Dec 7, 2017

Sato Bldg. 1F 15-24 Nakano-cho Takamatsu-city, KAGAWA

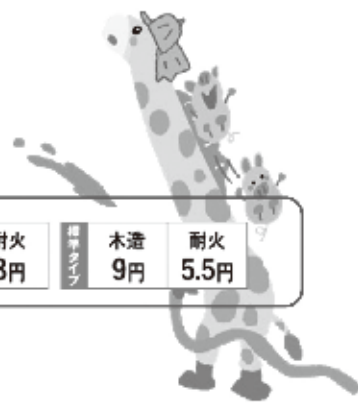
tel. 0120-27-5925 fax.087-802-1642

「JTU-Kafe」は「JTU-Kagawa (日教組香川)」と「Cafe」を組み合わせた造語です。組合事務所で執行委員が、お待ちしております。相談ごとなどありましたら、お気軽にお越しください。飲み物とお菓子を用意しています。電話やファックスでの相談もできます。なお、日教組香川組合員で無い方も歓迎です。ただし、その場合、お茶代500円をいただきます。

突然の火災!地震!台風!

全国
一律掛金!

火災共済
住宅災害等給付金付火災共済
自然災害共済



1口あたりの 月掛掛金	火災共済(月払い)	木造	耐火	自然災害共済(月払い)	木造タイプ	木造	耐火	耐火タイプ	木造	耐火
	火災等共済会一額10万円/1口	6円	3円	地震等共済会一額大型3万円・標準2万円/1口 風水害等共済会一額大型一標準とも5万円/1口	12.5円	8円	9円	5.5円		

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 東四国事業所

〒760-0004 高松市西宝町2丁目6-40 香川県教育会館 電話0120-27-8140 FAX 0800-200-2207

カナリア通信

ぼちぼち健康

◆若い頃は「全て健康状態」と判断されて、スツキリと健康を感じることができていました◆ある程度の年齢になってからは、ちよつと気になることがあるけれど、「病気の状態ではない」という感じになりました。でも、運動もできるし、仕事や生活をする体力に問題もないし、気力が失われてしまったわけではないし、自分は「たぶん健康だろう」と思っていたら◆さて、今年の間ドックでは再検査の判定が届きました。自分の身体の変化に目を向けざるを得なくなりました。必要と思えばすぐに行動する性分ですが、これからは、ぼちぼちやっていくことを考えるようにしていくのがいいのかも。暴走しがちな気持ちを身体が止めにかかったのかもしれない◆「たぶん健康」でいられるように、ぼちぼち自分の身体と向き合うようにしてみます。

人事異動相談 & 日教組香川組合加入説明会

日時 2017年12月10日(日)10:00~12:00

場所 日教組香川事務所

ご相談に
のいます

- まだ2年しかたっていないが異動したい
- 〇〇小学校へ行きたい
- 校種間の異動をしたい

- 組合って何をするとところ？
- 組合費は？
- 組合に入ると得することありますか？

ご質問に
お答えします

電話でもOK

すべての
お問い合わせは

TEL 0120-27-5925 (日教組香川教職員組合)
URL <http://www.jtu-k.com/> MAIL jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp

日教組香川加入メニュー

日教組香川には、香川県の公立学校で働く教職員であれば、どなたでも加入することができます。校種・職種は問いません。

メニュー	月会費	各種サービス
組合員	初年度 月1,000円 その後、 年齢ごとに 2,000円~5,000円	情報誌等配布・各種研修会案内 全国集会等旅費負担・個別課題への対応
講師 臨時採用 組合員	月1,000円	組合員に準ずる

月1,000円で全国のなかまと会える!